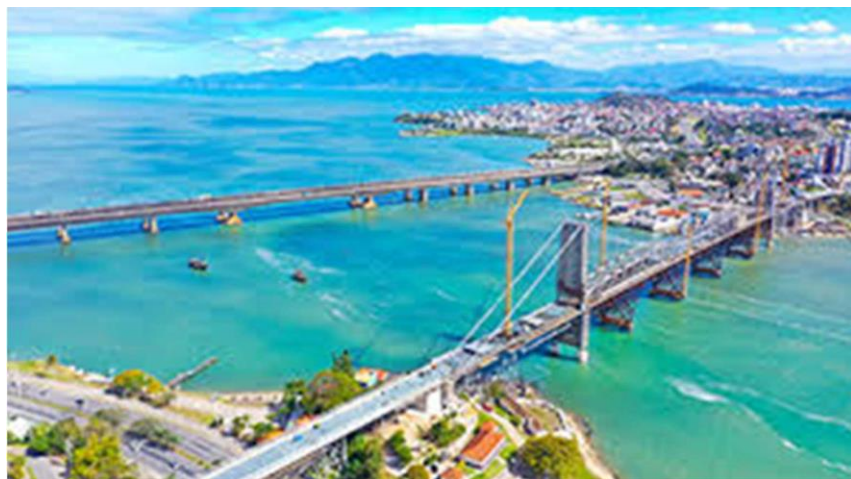


サンタ・カタリーナ州概観



2024年10月

在クリチバ日本国総領事館

1 通 史

(1) サンタ・カタリーナ州にも先住民(カリジョー族、トゥピ・グアラニ族)が居住。1515年にポルトガルの航海士ジョアン・ディアス・デ・ソリス、1526年にイタリアの航海士セバスチャン・カボットが到達した。

(2)「サンタ・カタリーナ」の名は、航海士セバスチャン・カボット夫人(カタリーナ・メデラノ)、聖人カタリーナ・デ・アレシャンドリアの名に由来する等、諸説ある。

(3) 1738年にサンパウロから分離し、1739年にポルトガル領となった。1829年にドイツ人の移住が始まり、1877年にイタリア人の移住が開始された。1839年、サンタ・カタリーナを単独国家とすることを目指した革命が発生するが、失敗に終わる。

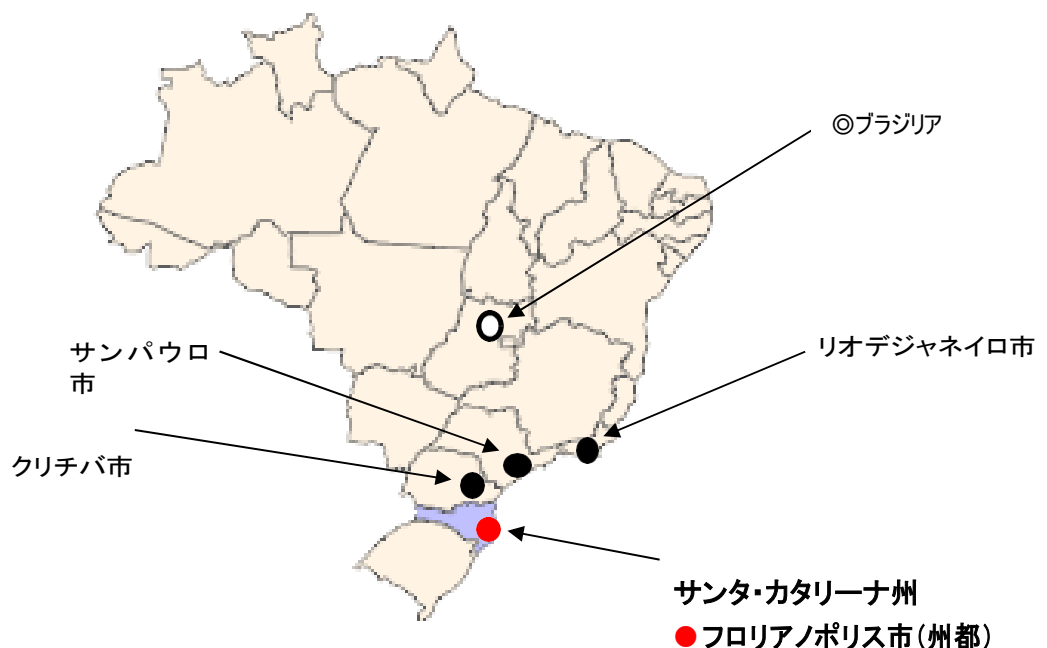
2 地 理

(1) ブラジル南部に位置し、北はパラナ州、南はリオ・グランデ・ド・スール州、東は大西洋、西はアルゼンチンに隣接。

(2) 面積は、日本の約4分の一に当たる約9.5万 km²(ブラジル全体の約1%)。

(3) 295の市を抱え、州都は東部の島嶼にあるフロリアノポリス市。同市を中心とする22市がフロリアノポリス州都圏を構成。

(4) 人口は約776万人(2022年)で国内10位。約9割が欧州系白人で、特にドイツ系が4割を占める。ドイツ系が多く居住するブルメナウ市では、本場ミュンヘンに次ぐ規模のオクトーバーフェストが毎年開催される。



3 気 候

雨季と乾季に分かれる。一部地域で冬季には降雪もあるが、全般的に温暖。縦長に大西洋に接する地理から、夏季には500キロに及ぶ海岸リゾートに世界中から観光客が訪れるなど、フロリアノポリス市はブラジルを代表するリゾート観光地。冬季には積雪する山岳部が登山名所となり、また、内陸部には緑豊かな牧草地帯もあるなど、自然景観に恵まれている。沿岸部は、冬になるとミナミセミクジラが子育てのため回遊し、重要な生息地となっている。

【年間気候(気温:℃、湿度:%、降雨量:mm)(サンタ・カタリーナ州気象庁、2023年実績)】

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年平均
最高気温	34.7	32.8	34.3	29.5	29	31.1	28.2	31.1	33.8	31.6	32	34.4	29.1
最低気温	17.8	17.8	17.7	10.6	10.6	6.7	7.6	7.4	9.1	14.6	11.6	17.8	12.4
平均気温	25.3	25	25.3	21.6	20.2	18.2	17.7	18.4	20.5	19.8	22.3	24.9	21.6
平均湿度	81.8	83.1	83.8	84.3	83.6	82.6	84.4	82.2	85.2	86.6	84.8	81.5	83.6
降雨量	35.8	166.4	131.4	118	42	140.2	111.6	94.4	93.8	416	444	91.2	157

4 政 治 体 制

(1) 州知事:

ジョルジーニョ・ドス・サントス・メロ(68歳、PL)

2023年1月～(任期4年)、元上院議員、元下院議員



(2) 州議会:

1834年設立、一院制。40名の議員が所属(日系議員は不在)

(3) 州都フロリアノポリス市長:

トパジオ・ネット(62歳、PSD)

2021年に副市長に就任後、2022年3月31日に市長が州知事選に出馬ため離任し、市長に着任。2024年10月の市長選では第一回投票で過半数を獲得して再選(二期目の任期は2025年1月～)。

5 経 済

(1) 主要な経済指標

GDP: 約4,286億リアル、ブラジル6位(2021年伯国地理統計院: IBGE)

経済成長率: 6.8% (2021年IBGE)

失業率:3.4% (2023年IBGE)

(2) 主要産業

主要産業は、農業、牧畜業、鉱工業、観光業。

農業では、玉ねぎ、リンゴ、米、小麦(国内3位)、トウモロコシ、大豆、タバコ、にんにく、マテ茶等の一大生産地。

牧畜では、養豚(国内1位)、養鶏(同2位)、肉牛・乳牛の飼育や乳製品の生産が盛ん。サンタ・カタリーナ州は国際獣疫機構から口蹄疫のワクチン非接種清浄地域と認定されており、我が国政府も2013年にサンタ・カタリーナ州産豚肉の輸入を解禁。

鉱業も盛んで、金、銅、鉄、水銀、亜鉛、大理石等を産出。工業では、自動車部品関連企業が集積しており、GMやBMW等の自動車メーカーも進出。内陸部では紙、セルロース、林業等も発展している。観光業は州全体のGDPの12.5%を占めており、フロリアノポリス市を中心とする海岸リゾート地は国内有数の観光地となっている。

サンタ・カタリーナ州は天然ウニが採れることで知られる。近年は牡蠣、帆立貝、クルマエビ、ティラピア、海藻(非食用)等の養殖にも取り組む。

(3) 貿易

■ 輸出総額:115億ドル(2023年ブラジル経済省)

(冷凍鶏肉、冷凍豚肉、大豆、圧縮木材、ディーゼルエンジン用機器等)

■ 輸入総額:287億ドル(2023年ブラジル経済省)

(銅カソード、太陽光発電機材、尿素、合金メッキ鋼板、大型車両用タイヤ等)

(4) 対日貿易

■ 輸出総額:4.5億ドル(2023年、ブラジル経済省)

(冷凍鶏肉(部分、ホール)、冷凍豚肉、ディーゼルエンジン用器具、肉加工品)

■ 輸入総額:2億ドル(2023年、ブラジル経済省)

(船舶用モーター、インクカートリッジ、歯科穿孔器、内視鏡、金属加工機器等)

【過去5年の貿易総額推移(2023年ブラジル経済省)】

	輸出額	輸入額	貿易収支
2019年	8,951,838,846	16,920,808,903	▲7,968,970,057
2020年	8,127,704,094	16,091,194,139	▲7,963,490,045
2021年	10,295,984,158	24,917,515,284	▲14,621,531,126
2022年	11,966,178,237	28,989,275,641	▲17,023,097,404
2023年	11,577,616,761	28,771,535,393	▲17,193,918,632

【主な貿易相手国(2023年ブラジル経済省)】

輸出(単位千ドル)			輸入(単位千ドル)		
1位	中国	1,689,817	1位	中国	11,721,605
2位	米国	1,688,821	2位	米国	2,088,014
3位	アルゼンチン	815,160	3位	チリ	1,796,865
4位	メキシコ	691,759	4位	アルゼンチン	1,578,815
5位	チリ	582,352	5位	ドイツ	1,274,739
6位	日本	457,474			
			25位	日本	201,610



6 日本との関係

(1) フロリアノポリスは「日本人の最初のブラジル上陸地」

1793年、石巻を出航した「若宮丸」が遭難し、乗組員はロシア船に保護された。同乗組員のうち4名が同国ナジューダ号で日本に送り届けてもらう途中、1803年にフロリアノポリスに上陸し数か月滞在し、最初にブラジルに上陸した日本人になったとされる。



(2) 日本人移住

1956年以降、フロリアノポリス市とラージェス市で日本人移住が開始。1960年代にピークを迎え、日系人は現地の発展に貢献。サンジョアキン市では移住者・日系人がリンゴ栽培を始め、1980年代にJICAとサンタ・カタリーナ農牧畜研究所（EPAGRI）間の協力が実施され、リンゴの一大生産地に成長。その他、梨やニンニク等を生産し、サンタ・カタリーナ州の重要な産業を形成。日系人が持ち込んだ技術により牡蠣の養殖等も盛んとなっている。現在、約2万7千人の日系人が在住（2023年調査）。



(3) 日系団体の活動

フロリアノポリス市のほか、カサドール市、フレイロジェリオ市、イタジャイ市、ジョインヴィレ市、ラージェス市、サンジョアキン市及びシャペコ市の8市に日系団体が存在。団体の連合組織として「サンタ・カタリーナ州日系団体連合会」もある。これら団体の働きかけもあり、2010年に州議会は12月16～23日を伯日友好週間に制定した。また、サンジョアキン市では「全国リンゴ祭り」、フロリアノポリス市では「七夕祭り」、クリシウマ市では「クリシウマ祭り」等が開催されている。

(4) 姉妹都市関係

1979年、イタジャイ市と千葉県袖ヶ浦市が友好姉妹都市提携を締結。

1980年、青森県とサンタ・カタリーナ州が友好姉妹提携を締結。

(5) 在留邦人

在留邦人は155人(2024年10月当館調べ)。永住者252人、長期滞在者12人。

(6) 主な日本企業

- ・SATAKE AMÉRICA LATINA(精米機、粳摺り機等製造)、ジョインヴィレ市
- ・MACNICA DHW (半導体、ソリューション)、ジョインヴィレ市
- ・HITACHI HIGH-TECH(特殊鋼製品)、ジョインヴィレ市
- ・MITUTOYO(精密測定機器)、ジョインヴィレ市
- ・NIDEC(コンプレッサー製造)、ジョインヴィレ市
- ・TERLOGS TERMINAL(港湾ターミナル運営、丸紅出資)、サンフランシスコドスル市
- ・YAKULT(リンゴジュース等)、ラージェス市
- ・TOP CAR(自動車販売、双日出資)、ブルメナウ市

(7) 政府協力

我が国はサンタ・カタリーナ州で「草の根・人間の安全保障無償資金協力」及び「草の根文化無償資金協力」を通じて、教育、スポーツ、環境、医療、農業等の各分野で協力。2010年から、フロリアノポリス市及び北部海岸地域の上下水道網を整備するため、「サンタ・カタリーナ州沿岸部衛生改善事業」(円借款、14,426百万円)を実施しており、約51万人の市民に裨益。

7 治安情勢

サンタ・カタリーナ州は比較的に治安が良いとされるが、軽犯罪件数は多く、一定数の殺人犯罪件数もあることから、日本人旅行者や滞在者は注意する必要がある。

【サンタ・カタリーナ州の年間犯罪件数(2023年サンタ・カタリーナ州公安局)】

	殺人	窃盗	強盗	車両盗難	車輛強盗
2019年	760	97,502	10,797	6,960	1,339
2020年	850	83,157	8,998	7,606	1,347
2021年	638	95,037	9,046	7,563	1,408

2022年	597	111,060	7,966	8,125	1,279
2023年	572	108,416	6,809	7,248	1,072

(了)